



第52号

 松本深志高等学校
 サッカー部OB会報
 責任者 丸山 英男


『社会人サッカーを通して』



平林功気(60回卒)

60回卒と話すとき、今でも「若いねえ」と言っていたことが多くあります。しかし、高校卒業から早くも約20年が経ち、ここ数年は特に時の流れの早さを実感しております。

高校卒業後は、OB戦で久しぶりにサッカーをする程度で、すっかりサッカーから遠ざかった生活を送っておりましてが、今は再びサッカーに熱中しております。

転機となったのは、2024年、山雅主催で35歳以上の人が参加し、出身高校別に編成されたチームでトーナメントを戦う「もう一つの選手権」へ参加したことでした。改めてサッカーの楽しさを実感できたのはもちろんですが、かつて高校時代に共に戦った仲間たちと再び一緒にプレーできる喜びは、「青春」に近い感覚でした。ここから、私の「第2のサッカー人生」が始まりました。

それ以来、幽霊部員となっていたトンボFVにも積極的に参加するようになり、今では毎週土曜日の朝6時からの練習がすっかり生活の一部となっています。とはいえ、約20年の

ブランクを取り戻すには、まだまだ時間がかかりそうです。そんな中、長年トンボFVの代表を務めてこられた近藤さん(47回卒)より後任としてお声がけをいただき、今年度より代表を務めさせていただきますこととなりました。

今年のトンボFVは総勢30名(うち深志OBは6名)で構成されており、20代半ばから40代後半まで幅広い年齢層の選手が在籍しております。毎週末の活動で皆が顔を合わせるため、若手とベテランが融合し、非常に良い雰囲気の中でチーム運営ができています。深志OB以外の選手が大半ではありますが、「自治の精神」はミヤクミヤクと受け継がれており、私自身もそれを後世へ継承できるように、日々活動しております。

代表になって、チーム運営の大変さを痛感するのと同時に、当たり前にサッカーができる環境があることがどれだけ有難いことか、改めて実感しました。リーグ登録、練習環境の確保、用具の維持管理、チームへの連絡、活動費の管理などを、仕事や家庭と両立しながら行う

ことは決して容易ではありません。私一人の力では到底こなされませんが、幸いにもトンボFVには積極的に協力してくれる仲間が多く、改めて本当に良いチームだと感じています。

社会人サッカーの世界では、世代交代がうまくいかず、存続できなくなるチームも少なくありません。そんな中、このように良い状態で活動が続けられているのは、諸先輩方のサッカーへの情熱や思いやり、自治の精神が受け継がれてきたからであり、その根底には、深志高校で共に過ごし、切磋琢磨した日々があるのだと確信しております。

深志高校でサッカーができたこと、そして卒業後もこうしてOBの方々と「つながり」を持ち続けられることを、とても幸せに感じています。いつか私自身も後輩たちに「若いねえ」と言えるくらい年を重ねて、この「つながり」だけは変わらずに残っているほしいと思います。

現在、トンボFVは中信リーグ2部で戦っております。鳥輪が発行されるころには、きっと優勝が決まっているはずですが、どのレベル、カテゴリーでもチームの総合力が試されるリーグ戦で優勝すると喜びもひとしおです。

また、シニアカテゴリーでもむかしとんぼが活動しております。かつて丸山英男先生が残した名台詞「アマチュアに引退はない」を胸に、平林正光先生を目指し生涯現役を貫く覚悟です。

OBの皆様、ぜひ一緒にトンボFVやむかしとんぼでプレーしましょう！

強化育成資金募集

OB会の目的は会員同士の交流と現役支援が大きな2つの柱です。同じグラウンドで、3年間サッカーに打ち込んだことを共有し、異なる年代の方々が集まり交流できることはとても貴重な集まりだと感じます。近い方々に声をかけ、多くの仲間が集まることを願っています。毎年8月15日を心よりお待ちしております。

さて、その8月15日を前に、本年も強化育成資金のご協力をお願いいたします。本来部活動でするので受益者負担が原則ですが、それぞれが現役時代に受けた支援をOB会として今の現役に繋いでいきたいと思っています。先日の県高校総体では久しぶりにベスト8まで進出できました。打倒私立を目指して一丸となって戦っていました。試合なので勝ち負けはつきものですが、一喜一憂せず集中した戦いぶりで成長を感じる姿でした。秋の高校選手権につなげてほしいと思います。さて、今年はワールドカップイヤーです。期待値の高い日本代表ですが、鳥輪が居くころにはその結果も出ていることと思います。幾つになってもサッカーを楽しみ、その仲間と集い、後輩たちを支えられる組織でありたいと思います。皆さまの積極的なご協力を重ね重ねになります。ありがとうございます。

OB会長 丸山英男(31回生)

一 拠出方法

- ① 同封の振込用紙で送金
- ② お取引の金融機関から送金
- 【金融機関】 ゆうちょ銀行
- 【店名】 〇五九(読み) ゼロゴキウ
- 【店番】 059(預金種目) 当座預金
- 【口座番号】 0014162
- 【名義】 深志高校サッカー部OB会
- ③ OB会当日持参
- ④ HPバナー広告掲載(お問合せはホームページから)

二 育成資金の目安

- ① 36回以前 随意
- ② 46回以前 一万二千円
- ③ 56回以前 一万円
- ④ 66回以前 七千円
- ⑤ 73回以前 五千円
- ⑥ 74回以降 随意

松本深志高校サッカー部HP開設しました！

<https://fukashi-tonbo-fc.com>

 現役部員紹介、試合情報、OB
 チームの活躍 etc. 掲載して
 います。

 バナー広告掲載・住所変更等
 問い合わせは
 こちらまでお願いします。

fukashi.tonbo.fc@gmail.com

OB会総会の通知

八月一五日(土) 午前八時三〇分

グランド集合

●日程(予定)

第一試合 九時

若手OB 対 現役

開会式 九時四五分

第二試合 一〇時

中堅OB 対 若手OB(四〇代前)

第三試合 一〇時五〇分

超OB 対 超OB(五〇代)

第四試合 一一時三〇分

中堅OB 対 中堅OB(自由)

第五試合 一二時二〇分

若手OB 対 若手OB(自由)

閉会式 一三時

※試合日程は当日変更の可能性があります。

※一昨年末で開催していた「天国」が閉店し、昨年の会場であった高校施設の教員会館が利用できないため。

深志高校サッカー部OB会会則(抜粋)

第1章 総則

名称 松本深志高校サッカー部OB会

組織 本校サッカー部の卒業生

目的 会員相互の親睦、母校サッカー部の発展を期する。

事業 会報及び会員名簿の発行、目的を達するための行事及び事業。

第2章 役員

名誉会長(母校の校長)

会長一名、副会長三名、理事長一名、

副理事長二名、会計一名

監査二名(理事会で選出)

烏輪編集長一名

常任理事 若干名

理事(各卒業年度一名)

顧問 若干名(歴代部長監督)
役員の任期は二年

第3章 会議

総会 毎年八月

①会務ならびに事業報告

②決算の承認、予算審議

③役員の承認

④その他必要事項

常任理事会 必要に応じ会長が招集

①総会で委任された事項

②総会に提出する予算案

③総会に提出する決算案

④事業計画

理事会 必要に応じ会長が招集

①役員の選出

②その他必要な事項

第4章 支部

支部 必要に応じ置くことができる。

第5章 会計

会費 年会費一〇〇〇円

(卒業後五年は徴収しない)

第6章 慶弔

①役員が結婚したとき 祝電

②役員が死亡したとき 一万円及び弔電

③役員の親族が死亡したとき 配偶者 五千円及び弔電

子・父母 三千円及び弔電

深志サッカー部での日々

部長 赤川 充人

日頃より松本深志高校サッカー部へ温かいご支援をいただきありがとうございます。現在部員は1年生17人、2年生10人、3年生14人の計41人で活動しています。先輩方から受け継いできた「打倒私立・公立ナンバー1」という目標のもと、勉強との両立を大切にしながら日々練習に取り組んでいます。

昨年度は3部リーグでチーム一丸となって戦い、12勝1敗1分けという戦績で優勝し、2部リーグへの昇格を果たしました。また部員数が増えたことで4部リーグにもセカンドチームを出し、より多くの部員が公式戦で経験を積むことができました。選手権では3年生が4人残ってくれて初戦となった3回戦は勝利することができましたが、4回戦の市立長野戦では0対6と大敗してしまい、県トップ校の強さを痛感しました。

その後3年生が引退し、新体制で挑んだ新人戦では中信大会で松商学園と対戦しました。前半は1対1、後半もお互いに1点ずつ取りあう接戦となりましたが、試合終了直前のコーナーキックで失点をしてしまい、負けてしまいました。これまで「打倒私立」という目標を掲げて活動して、勝利まで

あと1歩というところまでできましたが、最後の最後で失点をしてしまい、とても悔しい結果となりました。その後の県大会では選手権で敗れた市立長野と再び対戦することになり、今回こそは絶対に勝とうと意気込んでいましたが、結果は2対5と敗れてしまいました。差を感じました。新人戦の悔しい敗戦をバネに2部リーグでも戦っていきけるようこれまでよりもフィジカルトレーニングを増やすなどし、準備を重ねてきました。

そして今年度2部リーグでの戦いが始まりました。これまでの3部リーグとは比べ物にならないほど強度の高い試合が続きました。そんな中、総体前のリーグ戦で複数失点によって負けてしまう試合が続きました。このままでは自分たち3年生の最後の試合で良い戦績を残すことができず、後悔することになってしまおうと3年生全員で話し合い、サッカーの技術や戦術だけでなく、日頃の生活や取り組み姿勢そのものから見直すことにしました。もう一度チーム全体として気持ちを入れ直し一丸となって総体に臨みました。

総体では中信大会は2勝し、優勝することができました。県大会では2回戦で私立高校の松本第一と対戦しました。3年生にとっては「打倒私立」という目標を達成する最後のチャンスということもあり、全員気合が入っていました。前半に先制点を奪いリードしたものの、直後に相手のフリーキック



2025-2026 年度 松本深志 公式戦結果



公式戦名	月 日	対戦相手	会 場	W-L	Score	得点者
U184 部第5節	7月5日	梓川・池工	松本市サッカー場	△	1-1	麥嶋
U184 部第6節	7月19日	田川	松本市サッカー場	●	1-3	牛越
U184 部第7節	9月14日	明科	松本市サッカー場	●	1-6	春日
U184 部第9節	9月27日	穂高商業	深志高校	○	6-1	春日、吉田、腰原、麥嶋 3
U183 部第10節	7月5日	飯田	女神湖	○	5-1	朱、中澤 2、武田、宇土
U183 部第11節	7月12日	飯田 OIDE 長姫	女神湖	○	3-0	中澤、山口、佐久間
U183 部第12節	9月13日	長野日大 3rd	千曲川リバーフロント	△	2-2	百瀬、宇土
U183 部第13節	9月20日	飯田風越	松本市サッカー場	○	1-0	奥原
U183 部第14節	9月27日	松本第一 3rd	女神湖	○	2-1	柳澤、武田
選手権 3 回戦	10月11日	大町岳陽	かりがねサッカー場	○	10-0	中澤、百瀬、塩尻 3、佐久間、柳澤 2、奥原、高山
選手権 4 回戦	10月18日	長野市立長野	松本平広域公園球技場	●	0-6	
中信新人 2 回戦	11月15日	豊科	筑北村サッカー場	○	2-0	塩尻、宇土
中信新人 2 回戦	11月17日	松商学園	松本市サッカー場	●	2-3	百瀬 2
県新人 1 回戦	11月28日	上田染谷丘	千曲市サッカー場	○	7-1	武田、百瀬 2、塩尻 2、腰原、田中
県新人 2 回戦	11月30日	長野市立長野	須坂市北部グラウンド	●	2-5	田中、塩尻
U182 部第1節	4月4日	長野吉田	かりがねサッカー場	○	1-0	百瀬
U182 部第2節	4月11日	松本国際 2nd	松本国際総合グラウンド	●	0-2	
U182 部第3節	4月18日	松本第一 2nd	日大富竹グラウンド	○	1-0	宇土
U182 部第4節	4月25日	上田西 2nd	日大富竹グラウンド	●	0-2	
U182 部第5節	5月2日	飯田	かしわフィールド	○	3-2	佐久間、宇土 2
U182 部第6節	5月9日	松商学園 2nd	千曲川リバーフロント	●	0-3	
U182 部第7節	5月23日	上田	風越公園グラウンド	●	0-2	
U182 部第8節	6月13日	長野吉田	あがた運動公園多目的	△	0-0	
U184 部第1節	5月3日	田川	田川高校	●	2-4	吉田、本山
U184 部第2節	5月24日	明科	明科高校	○	2-1	本山 2
U184 部第3節	6月14日	穂商・南農	あがた運動公園多目的	○	15-0	腰原、黒澤、上原 2、吉田 2、山崎、久保田、小林、豊田、村野 2、長浜、春日、OG
中信総体 2 回戦	5月16日	田川	かりがねサッカー場	○	6-0	百瀬、宇土 2、塩尻、佐久間、柳澤
中信総体 3 回戦	5月18日	松本蟻ヶ崎	松本市サッカー場	○	1-0	山口
県総体 1 回戦	5月29日	須坂創成	あがた運動公園多目的	○	4-0	中村、百瀬、麥嶋 2
県総体 2 回戦	5月31日	松本第一	松本市サッカー場	○	3-2	百瀬、塩尻、麥嶋
県総体 3 回戦	6月2日	都市大塩尻	かりがねサッカー場	●	0-5	

から失点を許してしまいましたが、しかし前半のうちに再びゴールを決め2対1で前半を折り返しました。後半も必死に守り戦いました。が、終了直前に相手に同点ゴールを決められ、延長戦へともつれ込みました。延長戦では全員が諦めることなく苦しい中でも走り続けました。そして延長前半に決勝点をとりました。新人戦の中信大会で終了直前に失点をして負けてしまった経験があったからこそ苦しい中でも最後まで走り切ることができたのだと思います。これまで先輩方が掲げてきた「打倒私立」と



いう目標を達成することができ、試合の内容としても全員が最後まで全力を出し、勝つことができた高校生活の3年間の中で最も心に残る試合になりました。その後の3回戦では都市大塩尻に0対5と敗れてしまいましたが、最後まで戦い抜くことができ、今回の総体を通してチームとしても個人としてもとても成長することができたと感じています。

そして私たちが毎日楽しくサッカーができてるのは日々指導してくださる顧問の先生方、誰よりも近くで応援し支えてくださる保護者の皆様、OB会の皆様のおかげです。引き続き松本深志高校サッカー部へのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

2025年度（令和7年度）事業報告		2026年度（令和8年度）事業計画	
年 月 日	事 業	年 月 日	事 業
2025年5月8日	烏輪編集会議	2026年5月8日	烏輪編集会議
2025年5月15日 ～5月20日	中信高校総体	2026年5月16日 ～5月18日	中信高校総体
2025年7月11日	常任理事会・前年度決算・新年度予算・事業報告・事業計画他 烏輪発刊(第51号)	2026年5月29日 ～6月2日	県高校総体
2025年8月15日	総会 決算・事業報告・予算・事業計画審議	2026年7月10日	常任理事会・前年度決算・新年度予算・事業報告・事業計画他 烏輪発刊(第52号)
2025年8月30日 ～11月8日	県高校選手権大会	2026年8月15日	総会 決算・事業報告・予算・事業計画審議
2025年11月9日 ～11月18日	中信高校新人大会	2026年9月26日 ～11月8日	県高校選手権大会
2025年11月28日 ～12月7日	県高校新人大会	2026年11月12日 ～11月17日	中信高校新人大会
2025年4月～9月	1st 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 県3部 2nd 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 県4部中信	2026年11月27日 ～12月6日	県高校新人大会
2025年4月～11月	社会人チーム トンボ FV 中信1部リーグ シニアチーム むかしとんぼ O-35 / 40 / 50 リーグ 55 カップ	2026年4月～9月	1st 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 県2部 2nd 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 県4部中信
		2026年4月～11月	社会人チーム トンボ FV 中信2部リーグ シニアチーム むかしとんぼ O-35 / 40 / 50 リーグ 55 カップ

(収入の部) 2025年度（令和7年度）OB会一般会計決算書 2025年4月1日～2026年3月31日 (単位 円)				
費 目	2025 年度予算額(a)	2025 年度決算額(b)	対予算増減(a)-(b)	説 明
会 費・寄 附 金	1,000,000	989,000	11,000	振込616,000 持参373,000
特 別 会 費	100,000	89,000	11,000	5/8烏輪編集会議16,000 7/11 常任理事会27,000 8/15 総会46,000
前 期 繰 越 金	1,002,389	1,002,389	0	
預 金 利 子	10	910	△ 900	貯金 利子 910
合 計	2,102,399	2,081,299	21,100	
(支出の部) (単位 円)				
費 目	2025 年度 予算額(a')	2025 年度決算額(b')	対予算増減(a') - (b')	説 明
慶 弔 費	0	3,780	△ 3,780	
会 議 費	300,000	235,014	64,986	5/8 烏輪編集会議35,000 7/11 常任理事会54,000 8/15 総会 140,814+5,200
印 刷 費	60,000	58,170	1,830	烏輪51号 800部 封筒1000枚 55,550 / 振込印字サ-ビ s2,620
通 信 費	82,500	79,640	2,860	烏輪51号発送 @110×724通
手 数 料	10,000	9,329	671	振込手数料（郵便局、銀行）
使 用 料	100,000	99,000	1,000	ホームページ更新料33,000 維持費5,500×12ヵ月
補 助 金	510,000	500,000	10,000	現役育成 400,000 OB 100,000（トンボFV、むかしとんぼ）
雑 費	15,000	8,436	6,564	8/15 OB会飲物代金
予 備 費	1,024,899	0	1,024,899	
合 計	2,102,399	993,369	1,109,030	
収 支	-	1,087,930	-	次期へ繰り越し
2025 年度松本深志高等学校サッカー部OB会の一般会計につき、通帳および計算関係書類を監査した結果、正当に処理されていることを認め証明します。 2026年6月30日 監査 宮坂 哲生 印省略 近藤 龍大 印省略				

(収入の部) 2026年度（令和9年度）OB会一般会計予算書 2026年4月1日～2027年3月31日 (単位 円)				
費 目	2025 年度予算額(a)	2026 年度予算額(b)	対前年度増減(b) - (a)	説 明
会 費・寄 附 金	1,000,000	1,000,000	0	実績（2023年 1,018 千円、2024年 1,045千円、2025年 989千円）
特 別 会 費	100,000	100,000	0	常任理事会、総会
前 期 繰 越 金	1,002,389	1,087,930	85,541	
預 金 利 子	10	1,000	990	郵便局
合 計	2,102,399	2,188,930	86,531	
(支出の部) (単位 円)				
費 目	2025 年度予算額(a')	2026 年度予算額(b')	対前年度増減(b') - (a')	説 明
慶 弔 費	0	0	0	
会 議 費	300,000	300,000	0	烏輪編集会議、常任理事会、総会
印 刷 費	60,000	60,000	0	烏輪52号：800部
通 信 費	82,500	82,500	0	烏輪52号発送 @110×750通
手 数 料	10,000	10,000	0	振込手数料
使 用 料	100,000	100,000	0	ホームページ
補 助 金	510,000	510,000	0	現役へ 400,000 OB 2チームへ 各50,000 高校OB交流会へ10,000
雑 費	15,000	15,000	0	OB会 飲物代金
予 備 費	1,024,899	1,111,430	86,531	
合 計	2,102,399	2,188,930	86,531	